

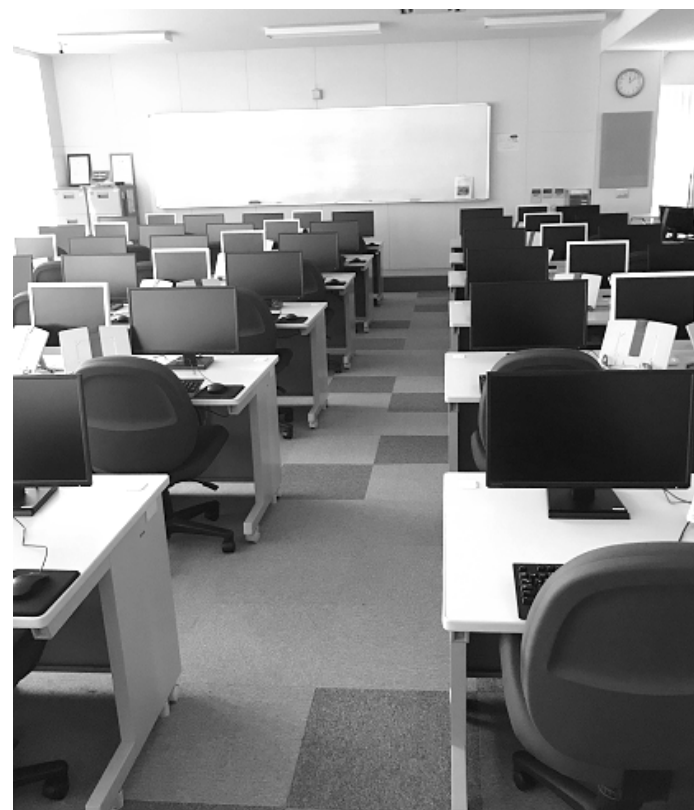
ああ担いて往かん

●挨拶・返事 ●言葉遣い ●身だしなみ ●笑顔 ●感謝 文責 大森 朗輝

ゆっくり 取り戻そう！

世界中のあらゆる世代の人たちが、この事態によってこれまでの普通のことができなくなり、多くの時間が奪われました。私たちも含め、初めて体験した「緊急事態宣言」や「外出等の自粛」そして「緊急事態宣言の解除」と「新しい生活様式」などこれからどう対処していかなければならないのか、まだまだわからないことや心配に思うことが続いきそうです。

皆さんたちに近い世代の人を見ても、この春高校を卒業し大学等へ進学した先輩たちは、入学式を含め一切大学のキャンパスに足を踏み入れることができずにオンライン等の授業のみが一部ではじまっているようです。同級生の顔を直接見ることもできないまま不安の中、学生生活がスタートしました。大学2年生以上の学生では、アルバイトなどをしながら学費や生活費を賄う予定だったものが計算が狂い、今とても困っているという現状もあるようです。



高校生にとっても、それぞれ各学年でこの期間のダメージが大きいことでしょう。かけがえのない時間が失われてしまったことは事実で、嘆いていても何もはじまりません。既に行動に移している部分もあると思いますが、小さなことでもいいので新たな目標を持ちコツコツと歩みを進めていきましょう。

「緊急事態宣言の解除」や「休校の解除」などについても、そのタイミングや方法など様々な意見や考えがあり、みんなが納得する正解を見つけることは難しいです。新しい行動に移るとき、反対意見や批判なども常につきまといます。命や健康を最優先させながらも皆さんが学校から得られるべき教育や学習を進め自分の未来をつくりましょう。

長い期間にわたった休校中も、第1弾・第2弾と次々に課題が出され基本的にひとりの力でこなしてきたと思います。もちろんスムーズにこなせた人もいるでしょうし、悪戦苦

闘しながらどうにかできた人や、中には何らかの理由で充分に手がつけられなかった人もいるのではないのでしょうか。いずれにせよ、学校で授業を受けらるということがどれだけ効率的なことかを知る機会になったことでしょう。

今後の細かな行事等の予定は多くの部分で白紙になっていたり、日程や内容の再考が必要なものが多いです。学習面においても四月当初に、シラバスにて学習の予定や検定試験への挑戦なども示しましたが、検定試験への受験は1・2年生に関しては、今後の授業の進み具合を見ながらしっかりと挑戦していける日程を考慮していきます。詳しくは各教科担任から確認してください。一定の方向性が定まりましたら、この紙面でもお伝えしていきます。3年生にとっては、卒業まで逆算した中で、或いは就職試験や大学への推薦等を考えると今後、受験機会は少なくなっていくのでチャンスがあるうちに積極的な受験を奨励します。授業以外でもフォローして参りますので、ともに頑張りましょう。

いわゆる例年とは比較ができなく、自分たちの頑張りが評価しにくい部分がありますが1年間をかけて、ゆっくりと確実に取り戻していきましょう。

新しい生活スタイルへの違和感？

常時マスクを着用することとか、人との距離を意識することとかこれまでの生活にはなかったことを求められます。それが当面の間なのかどうかも含めて誰にも答えられないことが多く、これから再開する学校生活でも「違和感」を覚えます。不便に感じるため違和感を覚えるのだと思いますが、私たちの社会にはこれまでも多くの変化が訪れてきました。その多くが便利になったことのため受け入れやすかったのだと考えられます。

皆さんは生まれた頃から世の中には携帯電話が存在し、それが当たり前になっていますが、皆さんの保護者や先生方の多くが高校生の頃にはそのようなものは存在していませんでした。（どうです？信じられないでしょう）ですので、便利になることも不便になってしまうことも私たちはいずれ慣れていくのだと思います。何かと制限されてしまうことや我慢を強いられることもありストレスもたまってしまうかもしれませんが、恐らく若い皆さんたちの方が上手に対応していける資質があると思います。

いろいろな意味での挑戦

四月の「また休校になるらしい」というタイミングで、三年生の資格取得を伴う科目において、急遽メールにて課題の配布や小テストの実施をするしくみをつくりました。三月の反省も含めてとりあえず、資格取得の学習を継続させる目的のものでした。当初はGW明けまでの予定でしたが、小テスト10回程度をイメージしていましたが、結局五月いっぱいまでの休校となり、小テストおよび確認テストなどを含めて30回以上になりました。受験範囲の80%以上はこの方法で学習を進めて参りました。いわゆる問題集は1冊終えることができ、当初の進度から大きく外れておりません。生徒は本当によく頑張ったと思います。しかし学校再開からが本当の仕上げになります。理解しきれなかった部分の復習や、本番の検定試験に向けた学習のための4週間になります。本来とともに授業を受けられたこれまでの先輩たちと比べると比較にならないほど不利な状況ですが、重ねてきた努力を花咲かせられるよう挑戦していきます。（原価計算：大森・畠山）

